広報みはま

TOPICS

- ハートフル対話2006
- 治太やんＢＯＸ・メール
- 美浜発電所の状況
- 平成18年度介護保険料決定
- エコクル美方公害関係測定結果

2006.7

「自然 かがやき　人 いきいき
まちがにぎわう　美し(うま)美浜」の実現のために

ハートフル対話2006を開催

多くのご参加・ご意見ありがとうございました

町では、町民の皆さんと町政について語り合う座談会「ハートフル対話」を4月24日から5月11日にかけて町内7会場で8回開催し、約500人の方にご参加いただきました。

ハートフル対話は、山口町長が各会場に出向いて町の現状や施策等について説明し、意見交換を行うことで、町民の皆さんに町政について一層のご理解とご関心を持っていただくと共に、いただいたご意見をまちづくりに活かすことを目的に平成11年から毎年開催しています。

今回のハートフル対話では、学校教育や産業振興、施設・道路整備などさまざまな分野における町の施策のほかに、美浜発電所3号機の事故後の対応についての説明を行いました。その後、参加された方と町長が意見交換を行いました。

今回の広報では、対話の中でいただいた質問や意見の一部を紹介します。

ハートフル対話

ハートフル対話はなぜこの時期に行うのですか？参加対象をもっと細分化することはできないのですか？

対話は、今年度の町の施策をお知らせする場でもありますので、準備が出来次第、できるだけ年度初めに行いたいと考えています。

参加対象地区については、各地区の行事予定や参加状況、日程的なことを考慮すると、今以上に細分化することは、難しいと考えています。

農林業施策

町の農林業の施策について教えてください。

農林業は町の大きな産業で、町内の田畑を守っていくために「担い手農家の育成」、「集落営農の推進」の2つを基本方針として進めています。町では、植栽による畦畔管理や無人ヘリコプターによる農薬散布、堆肥の生産、松くい虫対策などさまざまな分野で支援しています。エコクル美方で生産している堆肥は、価格が非常に安く、3年ぐらい使用してもらうと作物の味、品質が良くなることが実証されています。ぜひ使っていただきたいと考えています。

農業については、個人での農業経営が厳しくなっていることから、集落全体で進めていただきたいと考えています。

また、獣害対策については、電柵等で対応していますが、さらに被害防止対策を強化する場合は、町単独で実施すると高額な経費となり、地元負担も高くなります。

そのため、嶺南市町が一体となって県に対して要望しており、実現に向けてさらに努力していきたいと考えています。

松くい虫防除のための地上散布

防犯街路灯

町内の道路に設置された街路灯のナトリウム灯は、稲の生育に影響を及ぼすため、春から秋にかけて消灯すると聞いていますが、防犯の面で不安を感じます。代わりのライト等を設置することはできないでしょうか？

現在、製造メーカー等と解決策を協議し、街路灯の光が稲に当たらないよう遮へいする案を検討していますが、効果や安全面で十分な成果が得られていません。

そのため、今年度も稲が育つ時期に限り、対象箇所の街路灯を消灯する予定です。

早急に稲の生育に影響を与えずに、街路灯を点灯する方法を確立したいと考えておりますので、しばらくお待ちください。

市町村合併

市町村合併について町の現在の動向を教えてください。

現在、町では大きな動きはありませんが、舞鶴若狭自動車道の完成時期を見据えて検討していきたいと考えています。合併にあたっては、財政面や行政サービスの面で、大きな枠組みが必要と考えており、嶺南各市町と連携を保ちながら、時期を見て町民の皆さんの意見を聞きたいと考えています。

コミュニティバス

コミュニティバス
「ブルースカイ」

コミュニティバスは他の路線を通ることはできないのですか?

現在、コミュニティバスは丹生からレイクヒルズ美方病院にかけて、病院の診療時間や美方高校の登下校の時間帯に合わせて運行しています。

路線については、原則として、既存の路線バスと競合しないようにとの国からの指導があり、既に路線バスが運行している区間をコミュニティバスが重複して運行することは、現状では難しいと考えています。

しかし、今後は、より多くの方に便利にバスを利用していただくため、福祉バス「はあとぴあ号」と統合し、路線を増やす方向で検討しています。

交流人口の増加

町の交流人口の増大に向けて、中国からの誘客を進めているとのことですが、どのような施策を行っているのですか?

町では、観光ビザの規制が緩和され、今後、日本への観光客増加が期待される中国からの観光客の誘致を計画しています。

今年4月に、中国北京市から中学生の修学旅行の視察を目的に視察団が来町されました。大変よい評価を受け、早ければ、今年の夏季には修学旅行生を受け入れる約束をしています。修学旅行を通して子どもたちから交流を深めていきたいと考えています。

通訳の問題については、町だけで確保することが難しいため、来町される時期に合わせて県内で通訳ができる方を確保し、受入体制を整えたいと考えています。

町内を視察する視察団

定住人口の確保

少子高齢化で町に活気がなくなってしまうことが心配です。今後、住宅整備や企業誘致で定住人口の増加を図る予定はないのですか?

国の人口自体が減少傾向にあり、町では現在の人口1万1千人を維持することを目標としています。

住宅整備については、町営住宅が人口比率でみると嶺南市町で一番多く、あわせて平成14年度から宅地分譲を行っています。

企業誘致については、敦賀市にあるような産業団地等の案もありますが、用地等の問題で難しいと考えています。

今年4月に、企業誘致を促進するため、町内に進出される企業に対する助成を目的とした条例を制定しました。今後は、その情報発信に努め、企業誘致を図っていきたいと考えています。

舞鶴若狭自動車道

舞鶴若狭自動車道の整備工事の進捗状況はどうなっているのですか?

昨年、耳地区の測量が完了しました。今年度中に町内すべての用地買収が完了する予定です。

供用開始時期については、平成26年度と発表されましたが、1日も早い全線開通を目指して関係機関に働きかけをしていきたいと考えています。

工事が進められる美浜ＩＣ(仮称)(太田地係)付近工事現場

美浜中学校

美浜中学校の改築が予定されているそうですが、学校施設のすべてを建て替えるのですか？

現在の計画では、校舎、体育館、格技場すべての建て替えを予定しています。

今年度から基本設計に着手し、早期の完成に努めていきたいと考えています。

改築が予定されている美浜中学校校舎と体育館

公共施設のトイレ

集会場等の公共施設のトイレは和式のものが多いのですが、高齢者が利用する場合にとても不便です。これを洋式に改修する場合、町からの補助はないのですか？

町では先に下水道整備を進めており、来年度にはほぼ整備が完了します。今後は公共施設のトイレ改修を検討しており、高齢者の利便性向上を目的に現在、福祉保険課で調査しています。今年度中には補助要綱を定め、実施したいと考えています。

文化施設

図書館、資料館等の文化施設を整備する計画はないのですか？

現在、美浜中学校の改築を予定しており、そのために30億円を超える予算が必要となります。図書館や資料館は、町の生涯学習を推進するためにも必要な施設であり、図書館の新築については、公民館の改築と共に構想にあります。

しかしながら、再編による保育所の建設等も重要であると考えていますので、順を追って対処していきたいと考えています。

温泉施設

整備が検討されている温泉施設は、利用者の見込みが年間9万2千人と予測されていますが、それだけの利用者が本当に見込めるのですか？他の自治体の例を見ていると赤字運営で財政を圧迫しないか心配です。

予想利用者数は、福井大学と共同で研究し算出した数字です。町には年間約80万人の観光客が訪れており、それらのことも考慮すると厳しく算出した数字であると考えています。

若狭町の温泉施設も1年を経ないうちに10万人を超えています。

町の温泉の成分は、医療の面でもよい結果が得られています。他の自治体では、健康増進施設として温泉を活用し、医療費の削減に成功している町もあります。

また、地元の温泉として皆さんに利用していただくとともに、観光やスポーツ合宿などにも活用が期待できると考えており、医療費削減対策も含め福井大学と研究を進めていきたいと考えています。

保育所再編

来年度から保育所が、現在の9か所から4か所に再編されるとのことですが、再編されることにより、保育所が遠くなる地区は子どもの送迎が心配です。町の対応を教えてください。

町では、少子化の現状をふまえた上で、これからの保育サービスを充実させるために保育所の再編を計画しています。

現在、検討委員会で各地区の意見などを聞きながら再編後の保育所運営について検討を行っています。

送迎については、管浜や新庄など今までより保育所が遠くなってしまう地区や徒歩で通える地区もあることから、それぞれの地域や家庭によって事情が異なります。また、子どもも年齢によって身体的な差があり、一律に送迎バスを運行することは難しいと考えています。

これらの問題をふまえ、送迎については、保護者の方と十分な打ち合わせをして対応していきたいと考えています。